

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業			
予算科目	3 款 1 項 13 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	556
記入者情報	所属長:	中田 末明	担当責任者:	渡辺 悦子
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 19 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	本市に住所を有する小児慢性特定疾患児で、児童福祉法及び障害者自立支援法による施策の対象とはならない者			
根拠法令等	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業運営要綱			
事業の目的	日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児に対し、日常生活用具を給付することにより日常生活の便宜を図ることを目的とする。			
事業の内容	対象者の申請に基づき、その必要性に応じて特殊寝台等の日常生活用具を給付する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	対象者となる児童は、保健所からの情報提供でしか把握できないので、常に関係機関と連絡を取り合う。			
改善策の 具体的 取り組み	国の法改正等の通知から関連する条文の改正等要綱整備をはかり奈から、申請があれば対応できる体制を整える。			

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	0	154	0	154
	人件費	79	81	81	81
	合計	0	235	81	235
人件費 内訳	人工数	0.01	0.01	0.01	0.01
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	79	81	81	81
財源内訳	国庫支出金	0	77	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	79	158	81	235

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
給付件数	件	0	1	0	0

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	160	160	160	160	0	640

成果指標				
成果指標	給付に関する相談件数			
指標設定の考え方	日常生活用具を必要とする小児慢性特定疾患児が本事業に該当するかどうか、相談から給付まで適切な形サービスとつながったかどうかを指標とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	1	1	1	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	4月から難病患者が障害者枠に組み込まれたことで、障害福祉サービスや日常生活用具の支給対象が広がった。難病枠から外れた特定疾患のある児童は、この制度を利用することになるので、母子保健担当や保健所から連携して、対応いたしたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	特定疾患のある児童は、この事業を利用することになるので保健師と松山中央保健所又は家族との連携が必要。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題